

## 2023年度（2024年3月期）第2四半期決算説明会における質疑応答

日 時 2023年11月14日（火） 14:30 ～ 15:30  
形 式 本社での対面と Web のハイブリッド形式  
説 明 者 取締役副社長執行役員 CFO 酒入 和男  
常務執行役員 CSO 多和 淳也

### 【2023年度第2四半期実績について】

質問	回答
2023/2Qの国内火力・ガス事業の実績をどう捉えているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 電力価格安定化のために石炭価格固定化ヘッジを実施している中で、石炭価格が想定を超えて下落したほか、電力需要が想定より少なかったことなど、複合的な要因によって燃料競争力が悪化し国内火力ガス事業の利益が減少した。</li><li>・ 燃料価格の落ち着き等に伴い、今後は徐々に競争力が回復すると見込んでいる。</li></ul>

### 【2023年度見通しについて】

質問	回答
2023年度の期ずれ除きの通期利益に関して、セグメント別の内訳は。また、2023/1Q末時点の見通しから変化しているのであれば、その点も教えて欲しい。	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 燃料事業で 1,300 億円、海外・再エネ発電事業で 400 億円、国内火力・ガス事業で 200 億円、本社費等の調整額で ▲400 億円を見込む。</li><li>・ 2023/1Q 時点の見通しからの変更点については、国内・火力・ガス事業において 2023/2Q の燃料調達価格影響を織り込み▲300 億円の下方修正とした一方で、燃料事業においてトレーディング事業が堅調であることから+300 億円の持ち上がりを織り込んでおり、現時点で 1,500 億円程度としている。</li></ul>
一時的な要因を除いた国内火力・ガス事業の利益水準の程度は。	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 国内火力・ガス事業の一時的要因を除く利益水準について、両株主から資産を承継した時点においては 800～850 億円程度と見ていた。その後、発電所リプレイスで収益力を高めており、足元では 1,000 億円～1,100 億円程度と考えている。</li></ul>

**【再エネ事業について】**

質問	回答
再エネへの投資について、資材や人件費の高騰もあり、再エネの収益性が世界的に下がっているが、リスクをどう考えているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 金利の上昇、さらにインフレの影響による資材や人件費の高騰は課題のひとつ。</li><li>・ 当社の再エネへの取組みは、発電による脱炭素のみならず、将来的には再生可能エネルギー由来の低炭素燃料（グリーン水素・アンモニア等）の調達・製造への活用も見込んでおり、クリーンエネルギー供給基盤の構築という全体の枠の中で意義を見ている。</li><li>・ 一方で、無限に投資が可能ではないため、BS に大きな影響が出ないように、また ROIC 等が資本コストを上回るよう投資判断をしていきたい。</li></ul>

**【期ずれについて】**

質問	回答
純利益に関して期ずれによるボラティリティをどの程度許容するのか。	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 期ずれについては、ボラティリティはヘッジ取引等で極力抑えられるようにしているが、期ずれ額が大きいのは事実。期ずれに関しては燃料調整の仕組みとバランスを取らないといけないと認識。</li><li>・ 様々なステークホルダーに期ずれを含む当社ビジネスの仕組みを理解してもらう必要があるという観点において、開示の充実を図る必要があると考える。</li></ul>

**【新経営目標の進捗、事業戦略について】**

質問	回答
2025 年度の経営目標の達成に向けた進捗は。	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 現在は、2025 年度にむけて、財務規律に留意しながら、投資を概ね計画通りに進めているところ。</li><li>・ 投資途上であるため、資本効率性（ROIC 等）には結果が十分現れていないが、2025 年度の各経営目標に向けて概ね順調に進捗している。</li></ul>

以上

**将来の見通しの記述について**

本資料にある計画、戦略、業績予想等に関する記述は、記述した時点で当社が入手できた情報に基づいたものです。これらの予想・予測には、当社を取り巻く経済情勢、競合環境、関連法規、為替レート等不確実な要素が含まれており、これらの予想・予測を覆す潜在的なリスクが顕在化する可能性もあります。したがって、将来の実際の業績・事業環境等が本資料の記述と異なったものとなる可能性があることをご承知おきください。